

## 収支報告

	平成30年度	平成31年(令和元年)度	令和2年度
寄付金 (賛助会員費含む)	1,027万円	1,131万円	1,291万円
経常費用内訳	<p>管理費 29% (292万) 事業費 71% (712万) 1,004万円</p>	<p>管理費 30% (400万) 事業費 70% (917万) 1,317万円</p>	<p>管理費 31% (433万) 事業費 69% (957万) 1,390万円</p>
事業費内訳	<p>マネークリップ 14% (97万) 実家便 86% (615万) 712万円</p>	<p>マネークリップ 13% (122万) 実家便 87% (795万) 917万円</p>	<p>マネークリップ 11% (103万) 実家便 89% (854万) 957万円</p>

## ご協賛、寄付のお願い

当財団は、皆様からの寄付金を財源として運営しています。  
当財団の活動にご賛同いただき、ご支援・ご協力をお願いいたします。

### 振込みによる寄付

### リサイクル募金

書籍や書き損じはがきなどの買取金を寄付していただける仕組みです。

### 賛助会員

年会費は個人1口 ¥10,000  
法人1口 ¥50,000です。

## 財団概要/役員

名称：公益財団法人あいである  
所在地：〒141-0031  
東京都品川区西五反田 7-22-17 TOCビル12F  
TEL：03-6435-0444  
E-mail：info@idealideal.org  
設立登記：2015年4月1日  
公益認定：2017年4月1日

代表理事 木皿 昌司  
理事 笠作 真一郎  
下田 隆二  
中村 安志  
森 智之  
吉田 倅子  
渡辺 修三  
監事 相楽 行孝

評議員 飯塚 良成  
太田 一平  
安岡 利朗  
若杉 千秋

諮問委員 坂本 輝子  
坂本 博之  
柴山 英士  
村井 美紀



## 公益財団法人あいであるは、

「保護者がいない、保護者のもとで暮らすことが適当でない」とされた子ども」の健全育成支援を行う財団法人です。  
事業として、社会的養護出身者の退所後の支援「実家便™」、社会的養護児童の自立支援「お金の管理に関するレクチャー」を行っています。

# あいである Annual Report 2021

## ご挨拶 ～活動報告に寄せて～

日頃より当財団の支援事業に、ご理解とご賛同を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年度の支援事業において、お金の管理に関するレクチャー「マネークリップ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から施設訪問は行わず、レクチャー動画を作成し、施設職員に見てもらおうことで対応いたしました。実家便支援は、募集開始早々に支援予定数に達し、新規180名、継続405名、合計585名への支援を行いました。事業開始からの支援人数は1149名、施設数は130ヶ所となり、全児童養護施設数(605ヶ所)のうち、21%超の施設が実家便を活用しています。子どもの生活状況では、「進学したが、アルバイトができないため収入が減り、生活が苦しい」「人との接触を控えているため、孤立感、不安感が強い」との報告があり、弱い立場にある児童養護施設退所者の生活がひっ迫し、金銭的、精神的にも追い込まれている事例が見られます。

このような状況の中でも、実家便支援を受けている子どもは食糧支援とともに、「困ったとき、不安があったら連絡して良いんだよ。見守っている

よ。』という施設職員からのメッセージを受け取っており、子どもたちを支える一助となっているように思います。従来、児童養護施設退所者への社会的支援制度はなく、施設側でアフターケアサポート体制を整えることは、資金、人材の両面で容易ではないようです。

施設退所者への切れ目のない支援の必要性が強く求められ、他の道府県より先行して、東京都では自立支援コーディネーターが各施設に配置され、これに追従して、2021年からは他の道府県でも自立支援専門員の配置が可能になります。退所者への具体的な支援の方法については、各々の施設に任せられますが、実家便支援の有用性が着目されることになると思います。

一方で、実家便支援、お金の管理に関するレクチャー「マネークリップ」ともに、すべての児童養護施設に浸透するには至っていません。

難しい状況に置かれている施設退所者のことを思うと、施設関係者への案内を促進するとともに、支援事業体制を整える必要性を強く認識する次第です。

代表理事 木皿 昌司

# 実家便

施設を退所し自活を始めた子どもに6月と12月の年2回、施設を退所した年から5年(10回)を最長支援期間として、施設からの申請を受け食品や生活用品を発送しています。

施設退所者と施設をつなぐ「実家便™」は、施設退所者にとっては施設や施設職員とつながっていることの安心感を得ること、施設にとっては子どもの居場所確認とともに、私たちはあなたを気にしていますというメッセージを「モノ」と「言葉」の両方で送る支援です。

施設退所者が、本当の意味で自立するまでには、時間を要します。唯一の拠り所である児童養護施設とのつながりを持ち続けることは、子どもが再び負の連鎖を生まないための一助となるセーフティネットであり、自立への見守り支援です。



新規支援者宛 令和2年6月送付



継続支援者宛 令和2年6月送付



継続支援者宛 令和2年6月送付

## 実績

### 平成30年度

新規支援人数 172  
継続支援人数 284  
対象施設 96

施設長会議での支援紹介、既存支援施設への新規施設紹介依頼などを継続して行い、知名度向上とともに、支援の効果についての認知拡大を図っている。集中豪雨や地震などの災害時を想定した実家便の初回セットについて、「停電時にランタンがあることを思い出して使い、一緒に入っていた職員からの手紙を読み返し、暗い中でもホッとすることができた。」という報告とお礼を、子ども、職員から受け、内容物の検証につながる。

### 平成31年(令和元年)度

新規支援人数 207  
継続支援人数 344  
対象施設 113

施設ごとに単年度での支援対象となる子どもの人数に変動があることを考慮し、今年度から新規の応募について、1施設の申請人数制限5名を撤廃した効果により、応募が多かった。新規分として200名の募集を行い、審査の上207名に発送を行った。内容物については、自然災害の多発により、協賛団体からの支援は他の支援への分散傾向にあったが、商品の寄贈、特別価格による協賛団体が増えたことにより、充実が図ることができている。

### 令和2年度

新規支援人数 180  
継続支援人数 405  
対象施設 122

施設退所者へのアフターケアの必要性が着目される中、各児童養護施設の自立支援プログラムとして実家便を活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されており支援事業として定着していると考えられる。また、新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりもみられる。

# あいであるの マネークリップ



カード形式のゲームで、取りくみやすい内容です。

社会的養護の下で暮らす子どもがお金の管理について学ぶためのレクチャーを行っています。

## 実績

### 平成31年(令和元年)度

新規9団体、継続1団体

職員を対象としたレクチャーが9件、児童と職員を対象としたレクチャーが1件となった。各施設ともお金の管理や生活設計についての指導方法について模索しており、職員の意識合わせにも役立つと好評であった。

### 平成31年(令和元年)度

新規9団体、継続1団体

職員を対象としたレクチャーが9件、児童と職員を対象としたレクチャーが1件となった。各施設ともお金の管理や生活設計についての指導方法について模索しており、職員の意識合わせにも役立つと好評であった。

### 令和2年度

新規4団体

コロナ禍にあっても、施設を退所する子どもがお金の管理について学ぶ必要があることに変わりはなく、感染予防の観点から施設訪問を控えざるを得ない状況の中、代替的なレクチャーの要請を受け、動画でのレクチャーを行った。



## マネークリップレクチャーの動画を制作しました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、施設訪問によるマネークリップレクチャーを控えておりました。「リモートでのレクチャーを行ってほしい。」という施設からのご要望にお応えし、レクチャー動画を制作しました。今後、さらに動画をブラッシュアップする予定です。



広報紙「あいであるREPORT」を年2回発行し、広報活動を行っています。「あいであるレポート」は、ホームページ上に掲載しています。

右のQRコードを読み取り、アクセス! 「あいであるレポート」がご覧いただけます。



## 実家便を受け取った子どもの声

**この度は、実家便をお送りいただき、誠にありがとうございます。**

昨年度から、お世話になっており、実家便が届く度に非常に嬉しい気持ちになります。施設の方からのメッセージや、ボランティアの方の一言が日々私の支えとなっています。今回もたくさんの食料品があり、一人で生活している身にとっては、本当に有り難いです。特に非常食は普段手に入らないので、災害時のために備えるようにしています。実家便があることで、毎日頑張ろうと思えます。本当に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

**実家便のご送付どうもありがとうございました。毎年2回の実家便、大変嬉しいです、感謝しています。**

米やレトルトカレー、お菓子など、多くの食品が含まれていて、食事面でとても助かっています。またお手紙もありがとうございました。去年から新型コロナウイルスの蔓延により、大学で授業が行われないなどで精神的にストレスを感じています。そんな中、お手紙をいただいたことは、大変嬉しい気持ちです。食品やお手紙のご送付がとても温かい支援だと感じます。実家便のご送付、本当にありがとうございました。

**この度は、第一回目の実家便をお送り頂き、誠にありがとうございました。**

日常が変化していく中で、感染症だけでなく、自然災害についても日々考えを巡らせておりました。自身で災害時の持ち物を用意しようと試みてはいたしましたが、結局何を準備すれば良いのかわからないまま現在に至っていました。たくさんの非常持ち出し用品を頂いたことで、災害時は安心して避難が可能になると思います。この度は、メールにて心より感謝申し上げます。今後共よろしく願いいたします。

## 実家便の支援実績

支援年度	H28年	H29年	H30年	H31年	R2年
支援者数	235名	374名	456名	551名	585名
内新規支援者数	143名	166名	172名	207名	180名
対象施設	62	85	96	113	122

高校卒業と同時に児童養護施設を退所し、自活をはじめる子どもは**毎年約920人**※。

このうちの約**160人**(約17%)が新規支援者として実家便を利用していますが、まだまだ十分な数字には至っていません。

※児童養護施設入所児童等の進路に関する調査・報告書 令和元年度 全国児童養護施設協議会 図表5-12からの抜粋(H28年~H30年 3年平均)

全国の児童養護施設  
605ヶ所のうち  
130ヶ所で支援の  
実績があります。

### 活動の状況

実績

支援実績のある  
都道府県32(現状)



## ご協力企業・団体 多くの企業・団体様のご協力をいただき活動しています。

### 株式会社アーテック 株式会社アーテック



防寒シート、LEDランタンなどの防災用品をご寄贈・協賛価格にてご提供いただきました。

### おいしいと夢をお届けします パン・アキモト 株式会社パン・アキモト



37か月保存可能な防災備蓄パンをご寄贈いただきました。



### 食品ロス・リボンセンター

五目ごはん・ドライカレーなどの防災備蓄食をご寄贈いただきました。

### BLOOMING ブルーミング中西株式会社



タオルハンカチをご寄贈いただきました。



### 株式会社 白子



お茶漬の素をご協賛価格にてご提供いただきました。



### まいにち株式会社



携帯用トイレをご寄贈・協賛価格にてご提供いただきました。



### セカンドハーベスト・ジャパン



お菓子、レトルト食品などをご寄贈いただきました。



### 前田製菓株式会社



「あたり前田のクラッカー」でお馴染みの前田製菓株式会社様。クラッカーをご協賛価格にてご提供いただきました。



### 株式会社たらみ



ゼリーをご協賛価格にてご提供いただきました。



### マルコメ株式会社



即席みそ汁、糴甘酒をご寄贈いただきました。

### Nipponham 日本ハム株式会社



レトルトカレーや缶詰などを協賛価格にてご提供いただきました。

### メトロ キャッシュアンド キャリー ジャパン株式会社



メトロ様はヨーロッパを中心に世界25か国で卸売店舗を展開する、食のプロ専用の卸売り市場です。実家便内容物の大量発注にご対応いただいております。

### コストコホールセール ジャパン株式会社

(※順不同・敬称略)